

SDG s の取り組み

使用者委員 久永修平

皆さん SDGsはご存知ですか？

SDGs(持続可能な開発のための目標:Sustainable Development Goals)は、2015年国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性のある社会の実現のため定められた目標です。「教育」「経済成長」「健康と福祉」「エネルギー」「平和」など17の国際目標が盛り込まれています。

当社は、お陰様で今年 100 周年を迎えることができました。これも偏に地域の皆様、社員、取引先の皆様のご支援の賜物と感謝しております。また、日本が戦争もなく平和に生活でき、事業ができる環境があるからこそ考えます。しかしながら、世界には戦争、難民、飢餓、無差別テロなど課題が山積しています。

当社では SDGsに基づいた事業経営に取り組み始めました。

1. 多様な人材が創造性を発揮し活躍できる職場環境づくり
2. イノベーションによる企業と地域の活性化と市場の創出
3. 個人の健康と家族の幸せの環境づくり
4. 「もったいない！」意識の徹底と循環型社会づくり
5. 安全・安心・快適なまちづくり

この 5 つの目標は SDGsの17の目標を包摂していますので、社員全員で目標を共有し、当社の事業活動、社員の働き方、環境意識を通して、地域社会、国際社会へ貢献できるというモチベーションの醸成をはかりたいと思います。

この 5 つの目標は「当たり前のこと」なのです。

SDGs は、「当たり前のこと」を「当たり前にする」ことだと思います。

でも、簡単ではないことも事実です。

「持続可能な社会」は「貧困もなく、飢餓もなく、健康で、平等で、美味しい水がいつも飲める、いつもエネルギーがあり、雇用があり、産業が創出され、住む街がある、豊かな海、森のある、平和で公正な社会」です。

持続可能な社会の実現こそ企業の事業継続と幸せな生活を営める根幹だと考えます。

当社は、戦争ですべての事業資産を焼失しました。事業が再建できたのは、復員した社員、地域のお客様、お取引先様のお陰です。「戦争」だけでなく「格差によるテロ、環境破壊による異常気象、世界的な人口増による食糧危機」など世界の社会情勢は持続可能性の危機が多数存在します。その危機の解決のため SDGs はみんなで出来ることから取り組むべき目標だと思います。

SDGsの 17 番目の項目は「パートナーシップ」です。

出来ることから鹿児島企業の企業・個人・行政も、皆さんで連携して取り組みませんか？

労使も SDGsの共通の目標を持って連携して取り組みたいと思います。

「誰一人取り残さない」持続可能な未来の社会の実現のために！